

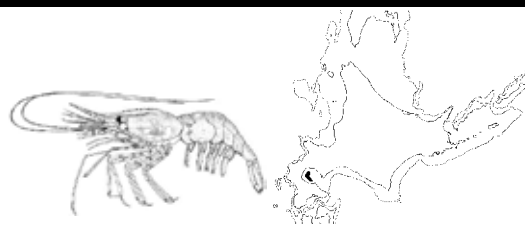
# 34.トヤマエビ

主な漁業と漁期

えびかご：

噴火湾外：3月～11月10日

噴火湾内：3～4月、9月～11月10日



## 噴火湾海域

### 生態

#### ◆分布・回遊

噴火湾では水深80～100mの海域に主に分布しています。発育段階や生活周期別の分布特性は不明です。

#### ◆産卵期・産卵場

◎産卵期は7～8月です。抱卵期間は6～7か月間で幼生のふ出期は2～3月です。

◎産卵場は不明です。

#### ◆成長・成熟

	頭胸甲長(mm)	
	3～4月	9～11月
1歳	20.7	23.7
2歳	30.0	34.5
3歳	34.5	38.4
4歳	38.4	41.8
5歳	41.8	44.7
6歳	44.7	47.2

\*) 1994～2017年の函館水試データより

\*) 加齢の基準日：1月1日

#### ◎成熟年齢・甲長

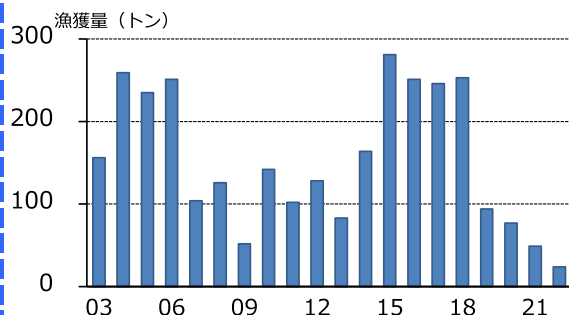
1歳までは年に2回冬と夏に脱皮成長し、1歳で雄として成熟したのち、2歳になる冬におおよそ75%の個体が雌に性転換します。2歳以降は脱皮成長は年1回で、オスは冬に、メスは夏に脱皮成長し、メスの脱皮期に交尾し、抱卵します。

### 資源評価

[評価年] 1月～12月

[評価方法] 1歳以上の資源重量

2022年度の漁獲量は24トンで前年から大きく減少し、1985年以降で最も少なくなりました。2022年度の資源水準は低水準で、翌年にかけての資源動向は横ばいです。資源診断の結果、現状の漁獲圧は過大と考えられることから、資源の有効利用と雌親量の回復に向けた対策を早急に実施していく必要があります。



2022年度  
の水準



低水準

2023年度  
の動向

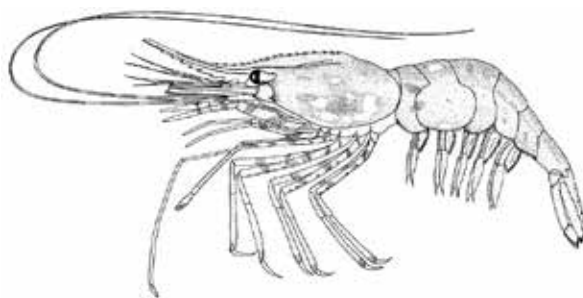


横ばい

### 資源の維持・増大のために！

#### 資源管理の現状(主なもの)

- 許可の条件等  
操業期間、かご数・目合(10節)等を定めています。
- 自主規制  
一部の地域では春季の小型えびの禁漁に取り組んでいます。



☆今後、関係機関および漁業者とともに若齢の漁獲圧削減に向けた取り組みなど具体的方策を実践していく必要があります。

問い合わせ先

北海道水産林務部水産局漁業管理課資源管理係  
北海道立総合研究機構 函館水産試験場調査研究部

電話 011-204-5477

電話 0138-83-2893